

# 文部時報

第五百五十八號 目次

卷頭 (明治天皇御製三首).....一

歐米の社會教育視察より歸りて.....文部省社會教育局成人教育課長兼庶務課長 松尾長造.....二

航海練習船を中心として.....航海練習所囑託東京高等商船學校教授 小門和之助.....八

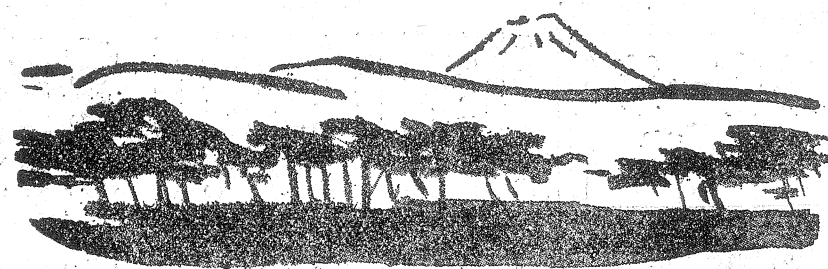
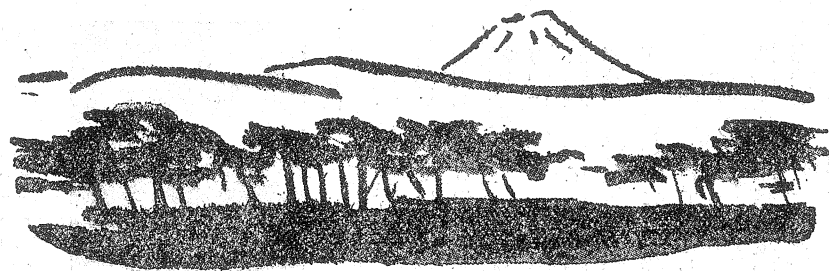
英國セントラル・スクールに於ける

一般教育及數學教育について.....文部省在外研究員 佐藤良一郎.....一七

第十一回實業學校卒業程度檢定試驗問題

竝答案講評(承前).....文部省實業學務局.....二二

ポストン日本古美術展覽會に輸出せる國寶及



重要美術品等に就て.....文部省宗教局保存課.....三一

昭和十年度文部省視學委員復命書抄

公民科.....文部省視學委員東京文理科大學助教授 綿貫哲雄.....三七

國語漢文.....文部省視學委員浦和高等學校教授 小野機太郎.....四二

## 文部省直轄學校の特色

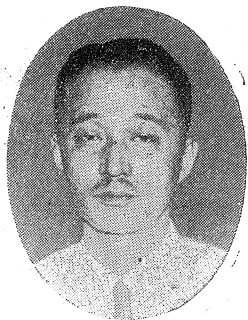
□廣島高等師範學校の特色.....廣島高等師範學校長 塚原政次.....四四

□富山藥學專門學校の特色.....富山藥學專門學校長 高橋隆造.....四六

□自由教育十五年.....橫濱高等工業學校.....四七

□東京高等工藝學校の特色.....東京高等工藝學校長 安田祿造.....五〇

□和歌山高等商業學校.....和歌山高等商業學校長 花田大五郎.....五二



## 歐米の社會教育視察より歸りて

文部省社會教育局成人  
教育課長兼庶務課長

松 尾 長 造

私は昨年の八月に歐米各國に於ける社會教育の状況を視察して參る様にといふ命令を受けて日本を出發して、先づ歐洲航路で印度洋、紅海を通つて地中海に出で、佛蘭西のマルセイユに上陸後本年二月まで歐洲大陸に留まつて、二月二十六日祖國に重大事件の突發してゐる時、それとも知らずロンドンに到着するや否や其の事を知つて實に吃驚した様な次第であつたが、それから英國米國を見て歩き五月下旬に太平洋を渡つて六月に歸朝したのであります。以上往復九ヶ月半の間に於て私は諸外國の社會教育の諸々の施設、活動の状況等を見て參つたのであるが、こゝにはそれ等の細々した事はなるべく申上げないで私の印象に深く残つた二、三の事柄に就いて所見を申上げてみたいと思ふ。

先づ第一に申上げねばならぬと思ふ事は、歐米何れの國に於ても社會教育上の諸施設が實に羨ましい程完備してゐる事である。大都市はいふに及ばず田舎の小さな町に行つても此の種の施設は立派に出来て居る。例へば社會教育上重要な施設である處の圖書館、博物館、美術館、繪畫館と云つた様なものに就て申してみても、こんなものはどんな都會にも必ずある。然もその町に取つて身分不相應と思へる程に完備して居る。日本人の常識から云へば、都會といふものはステーションがあつて家があつて道路がついてゐて市役所があればそれで立派に都會だと思ふかも知れないが、歐米人の頭から云へばそれのみでは都會とは云へない。ステーションも市役所も必要だが同時に相當の圖書館、相當の博物館がなくては都會にならぬ。こんな設備がなくては根本的に都會の體面に係はると思つてゐるのである。成る程私共が外國人としてどこかのステーションに降りてポテ

ルに入つて、さてこの町はとその町を大觀する場合に代表的に眼に留まり耳に聴かされるものは之等の施設である。のみならず更に其の町を去つた後でその町を思ひ出す時に、代表的に頭に現はるゝものは之等の美術館や博物館等の堂々たる姿、充實せる設備の印象であつて、例へば獨逸のミュンヘンに行つてそこを立ち去つた後で、さてミュンヘンとは考へる時にあの町としては身分不相應と云つてもよい位に完備充實してゐる獨逸博物館が恰もミュンヘンを代表せるものゝ如く眼前に聳々と現はれる。私はローマからバチカン博物館を奪ひ、ベルリンからカイザーフリードリッヒムゼウム、アルテスマゼウム(舊博物館)ノイエスゼウム(新博物館)等を奪ひ、パリからルーブル美術館、ロダン博物館、ギメー博物館等を取り去つたならば之等の都會は都會としてどれ程體面を失ふ事かと考へたのである。かゝる意味に於て都市の體面、延いては國家の體面上から云つて社會教育施設として圖書館、博物館、美術館、繪畫館が極めて重要な意味を持つものであるといふ事を外國人として外國を歩きまわつてゐる間につくづく痛感させられたのである。

### 二

かゝる意味に於て圖書館、博物館、美術館、繪畫館が國家的

歐米の社會教育視察より歸りて

に極めて重要な意味を持つてゐると共にそれ等の内部を視察する事によつて之等の施設の重要性を眼のあたり一層痛切に感ぜしめられたのである。自然科學の博物館などに一例を取つて申してみると、屢々そこには一群の青年、一團の少年が指導者に引率せられて來て居つて、教科書か参考書か知らないが書物片手に模型をいぢつたり器械を動かしてみたりして勉強して居る。聞けばその町の學校の生徒ださうであつて屢々此の様にしてはやつて來て實物に就て勉強するのださうである。その様子を見て居ると實に羨ましいものだといふ感じを抱かすには居られなかつたのである。我が國でも昔から百聞は一見に如かずとよく申します。まして實物をいぢつてみたり動かしてみたりして勉強したならばどれ程理解も早く記憶にも長く留まるかわからない。それなのに日本のあらかたの子供は勉強致す場合にも紙の上に自分で圖を書いてみたり書物の上のみで理解しようとして努めてみたり、机の上でやたらに暗記をしようとしていたりして勉強してゐる。之に反し完備せる博物館を持つてゐる之等の市民は紙の上、書物の上でのみ理解し記憶するに非ずして實際の物をいぢくつたり、模型を手にとつてみたりして勉強してゐるのである。實に幸な事であると感じずにはゐられなかつた。その外美術館や繪畫館などでも此の様な事は屢々見せられたのであ

つて、名畫の前にキャンバスを立て、丹念に寫生をしてゐる人々の姿を見ると成る程此の様にして名畫の一線一點一劃迄もこまかに味はつてこそはじめて情操教育もその目的が遂げられるんではないかと思つた事である。かゝる點から云ふと日本は非常に遅れて居る。それは決して品物が少いからではなく、書物がなく、品物が少く、名畫や寶物が少いからでなくて只た施設が少いばかりである。圖書館や博物館や美術館の内容がよいのである。我國でも、せめて府縣廳所在地には充實した博物館や圖書館が少くとも一館宛位はあつて欲しいと思ふのである。我國では博物館に比べると圖書館の方は非常に普及して居るが、それでも道府縣立圖書館はまだ四十館で、不足して居ると云はねばならない。殊に昭和八年に圖書館令が根本的に改正されて其の際新たに中央圖書館制度と云ふものが設けられて、各地方長官は其の府縣内にある公立圖書館中の一館を中央圖書館に指定して府縣内の幾多の圖書館を指導し、又其の聯絡統一を圖つて各圖書館の活動を充分ならしめることになつたのであるが、未だ現在の處中央圖書館の数は僅に三十三館と云ふ有様で甚だ遺憾に思つて居る次第である。要するに今後我々は此の種の社會教育施設に對し充分力を致さねばならないと考へるのである。然しながら之等の施設を講ずるに當つては、申す迄もなく其

の利用といふ事を充分考へて置かねばならぬのであるが、此の點に就て歐米に於ける之等の諸施設を段々見て歩いて居ると其の利用の點に至つてはまだまだ不足な處が非常に眼立つ様である。私は之等の施設が歐米では完備し充實して寧ろその町に取つては身分不相應な贅澤な位迄に立派であると共に前に申ししたがその通りで、つまりこの完備充實せる施設を百パーセントに利用してゐると思へないのであつた。上野の帝國圖書館が毎日毎日満員である状況を見たり、同じく上野にある科學博物館があの様に盛に利用せられてゐる状況を知つて居る眼から見ると歐米の此の立派な圖書館博物館はまだ充分利用されて居らぬ様に思はれた。部屋部屋を歩いて居ると時にはあまりに寂しくて狐か狸が出はしないかといふ感じがした事も屢々であつて、その點からいふと日本の圖書館博物館の方がどれ程活動してゐるかわからないと思はれたのである。要するに施設を活かす工夫、これが社會教育の極めて重要な點の一つである。日本に於ても設備が充分でないとは云へ五千の圖書館があり、又數は著しく少いとしても博物館國寶館の類がないではなく、利用といふ點に於て此の上とも充分研究して此の種の施設を活用して百パーセントに其の存在價值を出さねばならないと思ふ。

### 三

次に私は社會教育に於ける青年教育の分野に於て一番印象の深かつた事柄に就て申述べてみたいと思ふ。それは何といつても獨逸に於ける青年教育である。獨逸に於ては明日の新興獨逸は現代の成人の力では駄目であると諦めて専ら青少年の教育に専念してゐると云つても過言ではあるまい。ヒットラーの料簡では個人主義享樂主義の病膏育に入つてゐる現代獨逸の成人は何等頼りにならない。將來の獨逸の國運の發展は將來の獨逸を双肩に擔ふべき青少年のナチス教育に俟たねばならないと考へて居る青少年に對するナチス教育は實に驚くばかり徹底して居る様である。

三、四年廻つて見るに一九三三年一月にヒットラーが天下を取つてからといふものはナチス所謂國家社會主義の方針に基き教育も根底から改造せらるゝに至つたのである。

即ち下は小學校より上は大學に至る迄新しいナチスの世界觀國家觀を基礎として教育が斷行される様になつたのである。例へば歴史地理數學等總ゆる學科を通じナチスの社會思想國家思想を注入するに努むると共に、特に小學校中等學校に於ては土曜日を國家少年日と稱してヒットラー少年團に入つてゐるもの

は學校の方は休みでその代りに少年團の方でナチスの教育を受ける。ヒットラー少年團に入つてゐないものは學校に行くが學校では之等の生徒にナチスの歴史、人種問題、ヒットラーの傳記等を教へて所謂ナチス教育をやる。實に驚くべき徹底したナチス教育である。大學の學生も同様で各自の専門の外に之等の學生はナチスの政治教育を受けねばならない。例へばナチスの講演を聽く義務を課せられたり或は自らナチスの研究を行ふ義務を課せられたりして居るのである。

### 四

學校教育に於て既に右の通りであるが、之に對して社會教育施設と見るべきものに於ては一層徹底してゐるのである。就中ヒットラーユース、ヒットラー青年團と云ふが、ヒットラー少年團と譯すか假に少年團といつて置く。此のヒットラー少年團に於ては双肌ぬいでナチス教育をやつてゐる事は勿論である。尤も此のヒットラー少年團に對する加入は強制ではなく青少年の志願によるのであるが、それに就ては相當深甚の考慮を拂つて徒に團員の増加を計るといふ様な事はしてゐない様である。

聞く處によれば志願者は先づ數ヶ月の試験期を通らねばなら

なくて、此の間に於て思想もよい成績もよいと見極めがついたものを正式に入團せしめるのである。現在の處此の團員は全國に六百萬人あるとの事で年齢は男は十歳以上十八歳迄、女は十歳以上二十一歳迄である。何れにしても此の獨逸に於ける勇ましきヒットラー少年團運動は注目すべき教育施設であると考へられるのである。

乍併、何れの國の社會教育に於ても其の振興を來し其の充實を圖る爲めには指導者その人を得るといふ事が第一に肝要である事は論を俟たない處である。従つてヒットラー政府は勿論此の點を忘れないで、青年教育の大半の力を此の少年團指導者の教育養成に致してゐるのである。そこで簡単にその點を説明して置きたいと思ふ。

獨逸に於ける此の指導者教育施設は地方的のものと中央的のものとの二つに分けられると思ふ。地方的のものにも大小色々あつて、十五人を指導する指導者を教育する學校、五十人の少年を指導する指導者の爲の學校、百五十人を指導する指導者の教育の爲の學校といった様な工合に段階を區別して指導者を教育して居るのであつて、かゝる地方指導者學校が段々殖えて全國に男女夫々百校ある。

かゝる學校以上のもの、即ち六百人の少年少女を指導する指

導者、三千人の少年少女を指導する指導者といった様な多人數を相手とする指導者、大指導者といふか指導者中の指導者ともいふべき人達を教育するのが、中央指導者學校であつて、此の中央指導者學校が男女夫々全國に二ヶ所ある。男子の方はベルリン郊外のポッツダムに一校、カールムートといふ處に一校、計二校、女子の方は同じくポッツダムに一校、ライン地方のゴーテスベルグといふ處に一校あるさうである。私はポッツダムの方を見たので簡単に男女の此の中央指導者學校の事を述べて見ようと思ふ。

此の男子中央指導者學校は前にも申した通り六百人以上三千人の多數少年を指導する指導者を教育する、いはゞ此の種の教育機關の最高のものであるが、此の學校では既に過去に於て立派に少年團の指導に経験を積んだ人を、一回に約六十人宛、一ヶ月の間收容して訓練を施すのである。どんな事を教へるかといへば、ナチスの世界觀に基いて歴史、政治、藝術、文化、ナチス黨の組織、國家の組織等を教へたり研究せしめたりするのであつて、精神的訓練を主として居る。此の學校では身體的鍛鍊の方は軽く扱はれて一日一時間程度のものだといふ事を聞いた。

次に女子の方に行つたが、さすがに男と女を區別してゐるせ

いか、男の方とは大分異なる處があちこちに見られた。此の學校も勿論過去に於て立派に少女指導の経験のある少女指導者を全國から選抜して教育するのであつて、一回に三十五名宛を收容して寄宿舎で共同生活をなさしめて三週間訓練するのである。而して男と異つて此の女の方では身體的訓練を第一として、學問の方を第二に廻はしてゐる様な傾向に見受けられた。學問の方では男と大差なく、人種問題、遺傳學、獨逸の歴史、民族性の問題、其の他文化一般の問題に關する講義を聽かせたり共同研究をさせたりしてゐるのである。尚ほその外家政や織物の様な特に婦人向きの教育をも授けて將來一家の主婦となつても恥かしからぬ充分の資格をも與へようと努めて居る。前にも述べた通り此のポッツダムに集まつてゐる婦人指導者達は夫々立派な指導者としての経験の所有者であるが、會つてみると案外まだみんな若々しい青年期にある人々のみで、同時に極めて強い身體の持主である事が如何にも力強く感ぜられた事である。

尚以上の施設の外本年からハノーバーのブラウン、シュヴァイクに少年團指導のアカデミーが設けられてヒットラー少年團の最上級指導者達が更に半々年の教育を受け、次に半々年間外國へ出て見聞を廣める事になつたさうである。

以上述べた通り獨逸に於ける青少年教育は其のやり方に於て

歐米の社會教育觀察より歸りて

確に要點を抑えて確實に勇ましく發展しつつあるのであつて、社會教育の見地からいつて實に刮目に値するものがあると思つたのである。



戰轉斷無禁

| 定價                             |                        | 價                  |               | 表                  |                 | 廣告料                      |                                |     |
|--------------------------------|------------------------|--------------------|---------------|--------------------|-----------------|--------------------------|--------------------------------|-----|
| 一部                             | 金貳拾錢                   | 送料共                | 一ヶ月           | 金六拾錢               | 送料共             | 六ヶ月                      | 金參圓六拾錢                         | 送料共 |
| 一ヶ月                            | 金六拾錢                   | 送料共                | 一ヶ年           | 金七圓貳拾錢             | 送料共             | ●臨時増刊又は増大號發行の節は別に代金申受けます | ●御注文は總て前金に願ひます前金切れの場合は送本いたしません |     |
| ●廣告料は一頁五拾圓、二分ノ一頁參拾圓、四分ノ一頁拾八圓とす | ●掲載頁數は壹部毎に拾參頁を越ゆることを得ず | ●右文部省の御指定に依つたものです  | 昭和十一年八月九日印刷納本 | 昭和十一年八月十一日發行       | (第五五八號)         | 發行所                      | 東京市麹町區土手三番町十三番地                |     |
| 發行者                            | 大谷仁兵衛                  | 印刷者                | 大庭公平          | 印刷所                | 東京市牛込區西五軒町五十二番地 | 行政學會印刷所第二工場              | 電話牛込二九九六番                      |     |
| 發行所                            | 東京市京橋區銀座西七丁目一番地        | 電話銀座六〇、六六、六六二、六六三番 | 振替貯金口座東京十三番   | 電話銀座六〇、六六、六六二、六六三番 | 振替貯金口座東京十三番     | 發行所                      | 東京市京橋區銀座西七丁目一番地                |     |

[illegible]